

平成 20 年 11 月 26 日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行

「農と食」の展示・商談会 2009 の開催について  
～ 農業関連ビジネスへの取組強化～

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 川田 憲治）は、地域経済の活性化を目的に、農業関連ビジネスへの取組みを強化するとともに、その一環として、来年 2 月 10 日にさいたまスーパーアリーナ（さいたま新都心）において「農と食」の展示・商談会 2009 を開催いたします。

これは、県内で農業や食品加工業を営む皆さまと県内外の有力パイヤーの皆さまにお集まりいただき、農業と食品産業との連携を促進することを目的として、埼玉県のご共催をいただき、開催するものです。

## 【展示・商談会 開催概要】

名 称：「農と食」の展示・商談会 2009  
場 所：さいたまスーパーアリーナ（コミュニティアリーナ）  
日 時：平成 21 年 2 月 10 日（火）  
主 催：埼玉りそな銀行  
共 催：埼玉県  
内 容： 展示会：農業生産者・食品製造業等によるブース展示 100 社（予定）  
商談会：外食・流通・小売等のパイヤー 50 社（予定）  
（パイヤー 50 社 × 1 テーブルにつき出展社 8 社と商談 = 400 件の商談予定）  
その他、日本食糧新聞社ほか業界団体のご協力を得て、県内外の食品担当パイヤーさまへの来場プロモーションの実施を予定しています。

埼玉りそな銀行では、これまでも農林水産業に従事するお客さま向けの融資商品の開発や日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫）との業務協力など、農業に関連するビジネスに取り組んでまいりましたが、昨今の国際的な食料事情の変化や消費者の安心・安全意識の高まりを反映して、農業と食品産業の連携が急速に進んでおり、その取組みは今まで以上に重要性を増しております。

このたび埼玉りそな銀行は、埼玉県が実施する地産地消の推進や農商工連携の支援にむけた取組みに協力するとともに、食料品製造出荷額が全国第 3 位 と全国有数の食品供給基地である埼玉県の地域経済の活性化を目的として、以下の 4 項目の重点分野を中心とした農業関連ビジネスに、積極的に取り組んでまいります。

平成 18 年経済産業省「工業統計表（品目編）」より

1. 企業の農業経営体の育成・支援  
～ 事業拡大を目指す農業法人等の支援
2. 民間企業の農業参入支援  
～ 食品業界や建設業など異業種からの農業参入支援
3. 農商工連携の推進  
～ 農林漁業者と中小企業の連携による新商品・新サービスの提供を支援
4. ビジネスマッチングの推進  
～ 食に関わる生産者と仕入業者とのビジネスマッチングの推進

埼玉りそな銀行は、埼玉県経済の活性化に積極的に取り組むとともに、地域に密着した信頼されるパートナーとして、埼玉県の皆さまとともに発展することを目指してまいります。

以 上